EdTech導入補助金2022
令和3年度補正 学びと社会の連携促進事業
(先端的教育用ソフトウェア導入実証事業)費補助金

linguaattack

効果報告レポート

【事業者名】

iJapan株式会社

【ツール名】

Lingua Attack

【ツールの機能分類】

オンライン語学学習

2023年2月

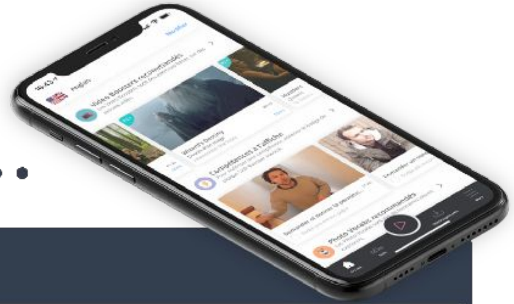
iJapan
A Part of iGroup Asia Pacific Limited

EdTechツールの概要

Lingua Attackの特徴

メディアとビデオゲームの専門家が、教師および認知科学の専門家と協力して作成したプラットフォームとアプリは、エンターテインメント性と効果的な教育法で外国語学習に革新をもたらします。
エクササイズは、ビデオとゲームを組み合わせた、臨場感あふれる魅力的な体験で、
毎日取り組めるように設計されています。
すでにフランスをはじめ世界中の何百もの学校、大学、研修機関、政府機関がこのサービスを利用しています。

Lingua Attackの他社商品との違い①



「リアル」にこだわった4つの学習セクション

ビデオブースター	フォト・ボキャブ	スキルブースター	スターターラボ
毎週更新される1,400本以上のビデオクリップを使用したエクササイズ	250以上のテーマ別ビジュアルディクショナリ	YouTuberと制作した日常生活や職場のシチュエーション別ビデオエクササイズ	言語の初心者のために特別に設計された学習ユニット

Lingua Attackの他社商品との違い②

6言語学習と26種インターフェース言語

6つの学習言語(英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語、中国語)を自由に学習できます。26の言語オプションからユーザーインターフェイスの言語を選択することができます。

レベル別に分けられた演習と評価テスト付き

CEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)のA1レベルからC1レベルまでをカバー。

ブラウザ・アプリ対応

ユーザーアカウントは2つのプラットフォーム間で同期され、ユーザーはウェブサイトまたはアプリケーションに同じログインを使用し、同じ学習データセットにアクセスすることができます。

学校等教育機関の抱える課題

大人数のクラスで生徒と一対一で向き合うのは難しい。
Lingua Attackを使用することにより、
生徒が自律的に勉強することや
個別のレベルに合わせた対応ができることを期待。

Lingua Attackの活用場面と効果

利用料
300円/月
(EdTech補助金利用時)

活用場面 授業で。または家庭学習での宿題など。

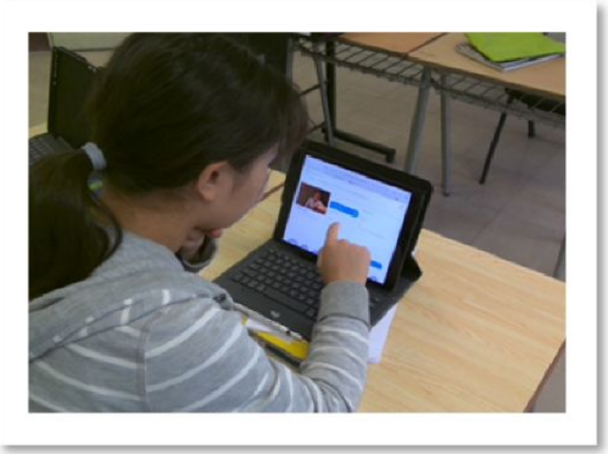
効果1
教室の外で簡単に再生できる短編の学習ユニットで、いつでもどこでも学習中の言語に頻繁に触れることができるように設計されております。

効果2
本物のビデオ(映画やテレビシリーズのシーン、ミュージックビデオ、ニュースクリップなど)に基づいた何千ものエクササイズを備えており、言語だけでなく文化的な面でも没頭して学習することができます。

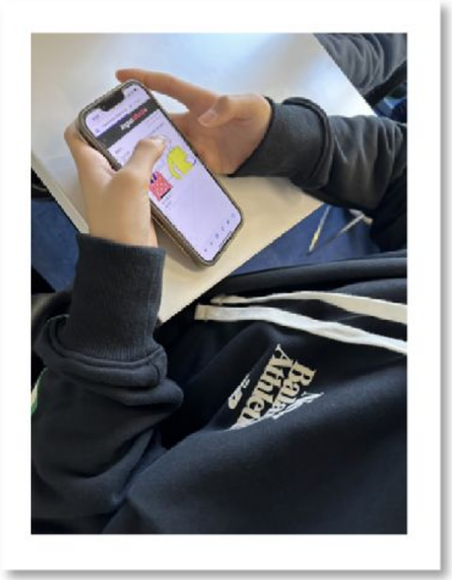
効果3
ビデオ、特に最新の映画やテレビシリーズからのクリップを生徒の主なインプット形式として使用することで、生徒の興味を掻き立て、外国語学習に自発的に参加させることができます。

毎週更新される新しいコンテンツ、魅力的で直感的なユーザーインターフェース、ゲーム化された演習などにより、生徒のモチベーションをさらに高めています。

Lingua Attack導入活用事例



授業では、生徒の英語運用レベルに合ったコンテンツを個別に取り組みました。
ここでは、中学1年生へ導入され、英語の初級レベルである
Starter Labsに取り組んでいる様子です。
英語の授業内で、教師から英語の説明をする際に、説明だけでは理解の難しいところを
本物の会話の運用や発音の練習などで活用し、実態に合った使い方としてツールを活用されていました。



また、別の学校では実際に教師が英語のネイティブである事を有効に活用するため、
教師からの導入後、ツールに取り組む時間を設け生徒がそれぞれ進めていました。
また、ツールを宿題としても活用し、大人数での授業ではカバーしきれない
個別のリスニング・スピーキング・英語言語での
会話の包括理解の強化として使用されていました。
ここでのツール使用学年は、中学1年生、2年生、高校1年生です。

補助事業において実施したサポート内容

サンチャゴ日本人学校・ドルトン東京学園

アカウント発行

指定数の生徒・教員のアカウント発行し、ツールの稼働確認

デジタル教育導入研修 1時間

オンラインにて資料を参照し実際にツールを動かしながら操作方法等の以下の内容を説明

- 教材概要
- ログイン方法説明
- 指導事案の活用方法
- プラットフォームの活用方法
- 学習進捗の使い方

学校フォローアップ 1時間

オンラインにて以下の項目について協議

- レッスンプラン活用方法
- ステップ学習指導
- ICT端末活用に対しての質疑応答
- 他学年でのICT端末活用課題
- 学校でのデジタル教育目標
- クラスごとの利用進捗共有
- 他の学校での利用事例紹介
- アクティブラーニング指導事例

EdTech導入補助金2022における導入実績

本事業においてEdTech ツールを導入した学校等教育機関数、学校等設置者数

■サンチャゴ日本人学校 生徒1名使用

メインツールとして、週1授業内で活用。少人数校であること、個別学習が可能な点や6ヶ国語を一緒に学べるという利点からEdTech補助金ツール導入採用。

■ドルトン東京学園中等部・高等部 生徒150名使用

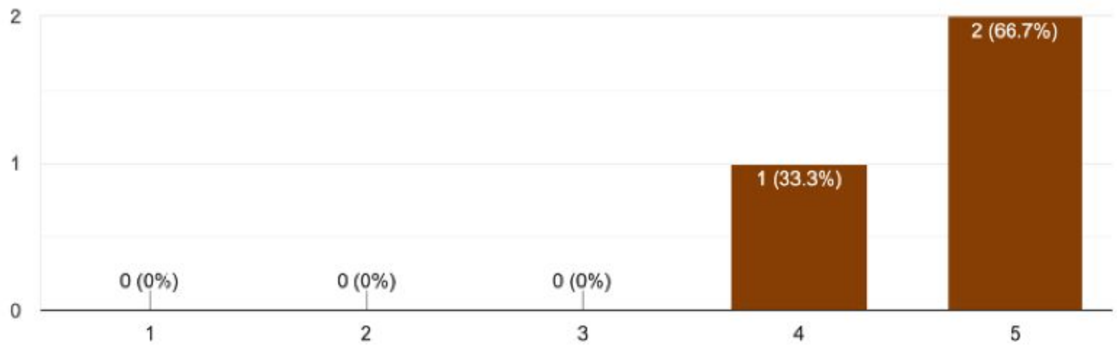
メイン・サブツールとして、授業・宿題として活用。生徒が主体性を持って学習できる事、言語教師によりデザインされたアクティビティと、特に初心者レベルの生徒にとってのStarter Labのクリップはシンプルでとてもわかりやすく、会話は自然でとてもリアルであり、その後に続く理解度の高い演習は徹底しているという利点よりEdTech補助金ツール導入採用。

EdTechツールによる活用効果

教師（回答数3名）

ツール使用時の重点言語スキル
リスニング、スピーキング、理解度

On a scale of 1-5, how effective was Lingua Attack in helping students learn/ practice these skills?
(5 = Highly Effective, 1 = Not Effec...程度効果的でしたか？(5 = 非常に効果的、1 = 効果的ではない））
3 responses



ツールの効果的だと思う点

①自分ペースで繰り返し練習できる
②映像を通してのネイティブスピーカーの英語を聞けること
③語学教師が考案したアクティビティ。
④スターターラボのクリップはシンプルでとてもわかりやすいです。登場人物は生徒にとって魅力的で、会話は自然でとてもリアルです。理解度を確認するための練習も充実しています。

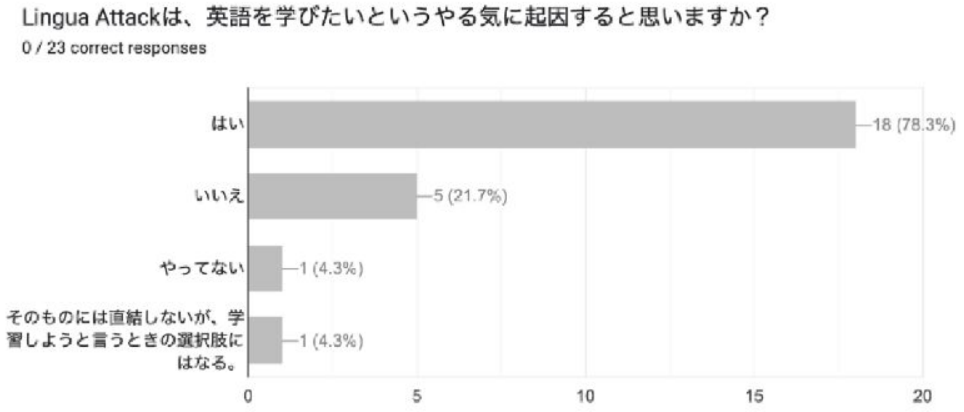
ツールの効果的でないと思う点

①初学者向けの教材が少ない
②ムービークリップの中には、初心者には難しそうなものもあること。

※なお、今回導入時期の関係で評価テスト等は行われず、意識調査のみとなりました。

EdTechツール使用前後の 児童・生徒・教職員のコメント・感想等①

生徒（回答数23名）



ツールの楽しかった部分

①ビデオ・映画
②単語ジグゾーとダイアログ
③テキストみたいな感じじゃなくて実際の会話での使い方が学べるところ
④基礎的なことの復習や知らなかった技術の穴埋めなどで成長できるところ

ツールの楽しめなかった部分

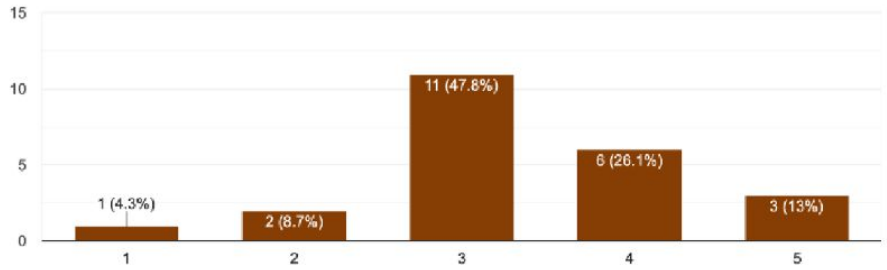
①レベルが高いセクションが多い
②繰り返し似た問題で飽きてしまうところ、つまらない
③読み込み時間が長い。
④もっとゲームのようなものがあっても良いと思った

EdTechツール使用前後の
児童・生徒・教職員のコメント・感想等②

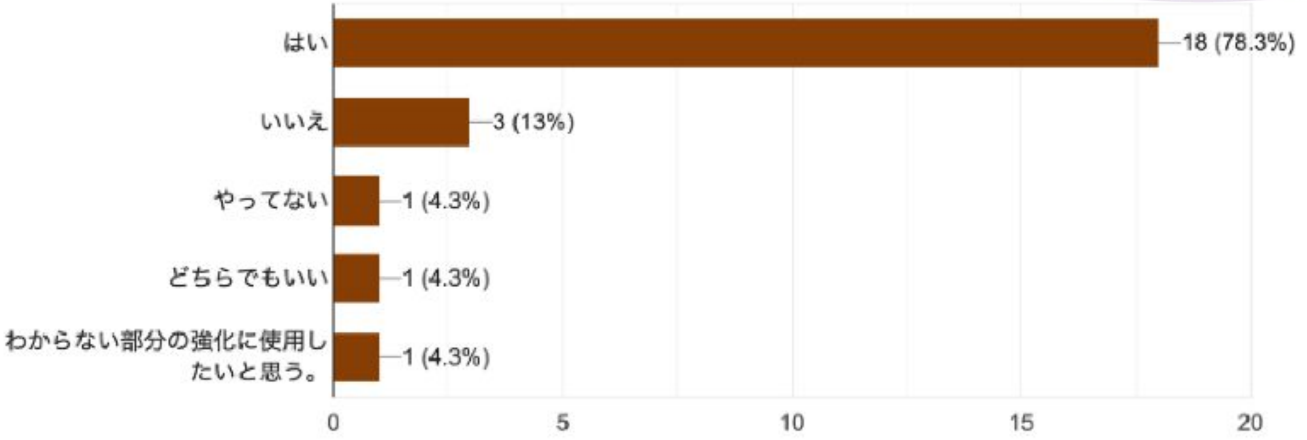
英語を学ぶ上で最も困難なことは何か?

①文法的なこと
②単語・スペルを覚える
③ライティング
④発音とリスニング、スピーキング
⑤英語でコミュニケーションをとること

上記の課題を解決する上で、Lingua Attackはどの程度効果的でしたか? (5 = 非常に効果的、4 = 効果的、3 = やや効果的、2 = あまり効果的でない、1 = 効果的でない)
23 responses



今後Lingua Attackを利用したいと思いますか？
23 responses



教師感想

大人数のクラスで生徒と一対一で向き合うのは難しいです。
LAでは、生徒が自律的に勉強することができます。

ドルトン東京学園 中等部・高等部 英語主任教師／国際部 シュウェルマー カイ

EdTechツールの導入・運用における課題とその改善策

初級レベルへの導入・また大人数でのツールの活用の際には、
教師との連携が必要であり、本物の会話に触れたり言語学習のモチベーションを保つという意味ではとても効果的であるが、
文法的な要素では練習や根本的な理解という意味で教師との連携が望ましい。
そのため、改善策として不足しがちな本物の会話・ビジュアルに触れる体験という特性を活かしつつ、語学学習の根本である文法の理解については教師との連携により、より生徒の理解度、運用能力を強化する必要がある。

■ 会社概要

会社概要

会社名	iJapan株式会社
代表取締役	笠間 和喜
所在地	〒101-0047 東京都千代田区神田1-5-16 アルテ大手町9階
電話番号	03-5577-4899
URL	http://www.igroupjapan.com/
設立	平成24年5月
売上高	2019年 93,000,000円/2020年 49,344,000円/2021年 66,286,000円
事業内容	国内および海外の図書、新聞、定期刊行物の輸出入、販売 電子出版物等、各種電子情報資料の制作、出版及び印刷サービス業 学術・教育ソフトの輸出入および開発、販売業 コンピュータのハードウェアおよびソフトウェアの製造、販売業 コンピュータの各種装置、媒体の導入、設置およびプログラム開発業 プリントオンデマンドサービスACS/AGU等

EdTech導入補助金2022活用による成果の分析と考察

Lingua Attackの言語学習という点に関しては、テクノロジーを活用した学習に興味を持ちつつも予算のために参入できない学校、ネイティブ任せになり、生徒が本当に興味を持つトピックや生徒一人一人が実際にどう対処すべきかなど、カバーしきれない学校、マーケット内のツールが数多くありすぎてどれが良いか分からず導入に踏み切れない学校などに直面した。
さまざまなニーズに対して実際に導入し、授業で使うというこの機会により、主体的に学習に取り組んだり、勉強が楽しいという概念の変革、またさまざまなトピックを選べることにより学習の幅や選択肢が広がったと感じる生徒が多かった。
また、教師は効果的や生徒の高いモチベーションへの効力を評価しており、今後「コーチング」学習が促進していく中で、教師がどのように生徒の主体的な学習をサポートし、テクノロジーを使用してアプローチし、向上を図れるかという考察をする点において、とても良い機会だったと言える。